

長崎大学における 機関リポジトリの運用

2008年9月18日 県大図協研修会
長崎大学附属図書館 学術コンテンツ担当
森石 みどり

[今日のお話]

本学事例紹介・・・

- 長崎大学機関リポジトリの紹介
- これまでの道のり: 年度別活動ご紹介
- 実際の運用作業の紹介
- 長崎大学のリポジトリこれから

長崎大学学術研究成果リポジトリ NAOSITE

長崎大学学術研究成果リポジトリ
NAOSITE
Nagasaki University's Academic Output SITE

検索

TOP 学内研究者の方へ Q & A 関連資料 マイリポジトリ 附属図書館

お知らせ

■サービスの一時停止(9月18日)
中央図書館の停電に伴い、サービスを一時停止します。ご連絡をおかけしますが、ご了承ください。
停止期間◆2008年9月18日(木)8:40~

■機能強化のお知らせ 2008/09/11
長崎大学学術研究成果リポジトリに新しい機能が追加されました。くわしくはこちらをご覧ください。

■研究成果を随時登録中です。

2008/08/08
『保健学研究』20巻1~2号の収録論文20件を登録しました。→こちらから

長崎大学学術研究成果リポジトリ
NAOSITE
Nagasaki university's Academic Output SITE

長崎大学 | 附属図書館 | NAOSITE

検索

NAOSITE : Nagasaki University's Academic Output SITE >

ブラウズ

- コミュニティ&コレクション
- タイトル
- 著者
- 資料種別
- 日付
- 高頻度閲覧文献
- 詳細検索

登録利用者:

- 新着メール受信
- マイリポジトリ登録利用者
- 利用者情報編集
- ヘルプ

こちらからも検索できます

試験公開 Junii
附属リポジトリポータル

Alister
for the people

SCIRUS
scientific search engine

長崎大学 学術研究成果リポジトリ

Nagasaki University's Academic Output SITE : NAOSITE は、長崎大学で生産された学術研究成果を電子的に登録・保存し、広く世界中の研究者に発信する、機関リポジトリという新しい「電子的書庫」です。

機能強化のお知らせ

長崎大学学術研究成果リポジトリに新しい機能が追加されました。くわしくはこちらをご覧ください。(2008/09/11)

サービス一時停止のお知らせ(9/18)

中央図書館停電のため、サービスを一時停止します。ご連絡をおかけしますが、ご了承ください。
停止期間◆ 2008年9月18日(木) 8:40~13:00(予定)

検索

検索語を入力して、検索ボタンをクリックしてください。 ※ 検索について

検索 詳細検索

このリポジトリのコミュニティ

コレクションを閲覧するコミュニティを選択してください。

- 010 教育学部:教育学研究科 [700]
- 020 経済学部:経済学研究科 [181]
- 030 医学部 [2113]

NAOSITE : Nagasaki University's Academic Output SITE >

060 工学部 >

060 学術雑誌論文 >

このアイテムのファイル:

01704437.pdf 400.22 kB Adobe PDF [本文ファイル](#)

タイトル: Magnetic Properties of Fe-Based Ribbons and Toroidal Cores Prepared by Continuous Joule Heating Under Tensile Stress

著者: Yanai, Takeshi
Shimada, A.
Takahashi, Kenichiro
Nakano, Masaki
Yoshizawa, Y.
Fukunaga, Hirotschi

発行日: 2006年10月

出版者: Institute of Electrical and Electronics Engineers

引用: IEEE transactions on magnetics. 42(10), pp.2781-2783

抄録: Nanocrystallized Fe73.5Cu1Nb3Si15.5B7 ribbons with controlled permeability were prepared by using continuous stress-annealing by Joule heating (CSA-JH) method. An optimization of the annealing conditions revealed that a completely developed anisotropy perpendicular to the ribbon axis can be obtained stably in the moving velocity range from 1 to 200 cm/min at the current density of 37.5 A/mm². In particular, the highest velocity of 200 cm/min achieved the significant reduction in effective annealing time. The core made from the above-mentioned ribbon had good ac-magnetic properties such as constant permeability up to 2 MHz and low magnetic loss compared with those for different types of cores with controlled permeability. Consequently, it was clarified that the CSA-JH method is one of effective techniques for production of high performance toroidal cores with controlled permeability.

キーワード: Continuous stress-annealing
controlled permeability
Joule heating
magnetic toroidal core
nano-crystalline
stressinduced anisotropy

URI: <http://hdl.handle.net/10069/20057>

ISSN: 0018-9464

DOI: [10.1109/TMAG.2006.880078](https://doi.org/10.1109/TMAG.2006.880078)

長崎大学 発行紀要 Nagasaki University's Bulletin

一覧の「本文を見る」の番号をご利用いただけます。

最新登録資料

Yanai, Takeshi ... [et al.] (2006), Magnetic Properties of Fe-Based Ribbons and Toroidal Cores Prepared by Continuous Joule Heating Under Tensile Stress, IEEE transactions on magnetics, 42(10): 2781-2783

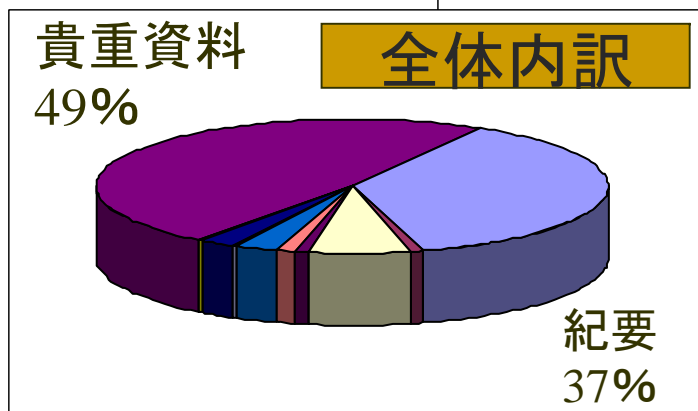
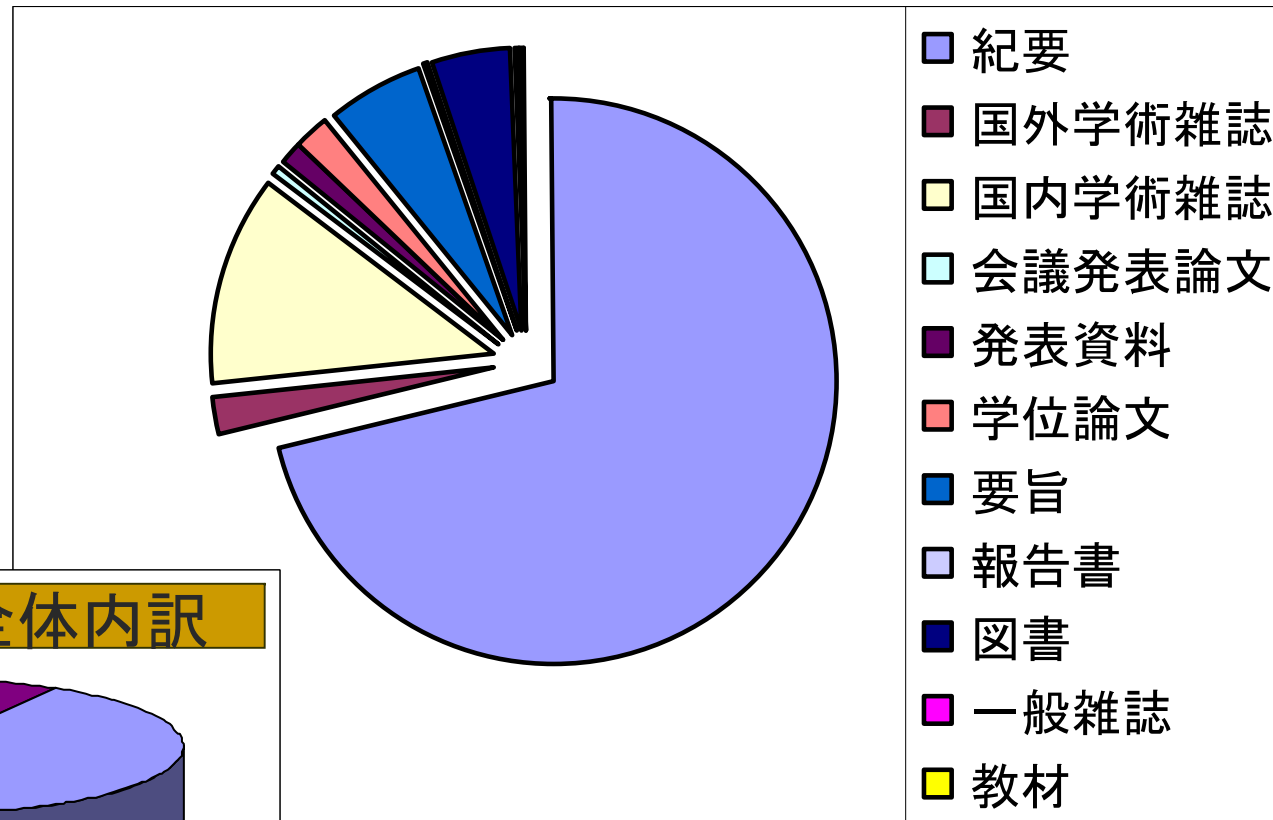
Yanai, Takeshi ... [et al.] (2006), Magnetic properties of Fe-based ribbons and toroidal cores prepared by continuous stress-annealing by joule

2008/9/19

長崎大学学術研究成果リポジトリ NAOSITE

- 長崎大学の機関リポジトリ
- NAOSITE : Nagasaki University's Academic Output SITE
- 登録総件数:14222件(2008/9/16現在)
- 貴重資料を除いた件数:7400件
- 学術雑誌論文1000件超
- 学位論文約150件

[NAOSITE内訳(貴重資料除く)]





これまでの道のり

各年度ごとの、作業紹介

平成17年度

- 初期CSI委託事業の19大学の1つ
- 6名でWGを編成
 - 2名：システム班（仕様書作成やテストなど）
 - 2名：運用指針班（運用指針案作成）
 - 2名：コンテンツ収集班（学内コンテンツ調査）
- 平成18年3月図書館システムリプレイス
リポジトリ用サーバをレンタル
DSpaceのインストールまで行ってもらう。
- 一括登録ツールの購入

平成17年度 成果

- 図書館システムリプレイス後の作業
- 初期コンテンツ登録
 - 工学部研究報告19件
 - 熱帯医学研究所紀要1132件
- 4月28日試験公開 1151件

- システム的に未成熟
- メタデータの標準も決まっていなかった

平成18年度 前半

- 5月 CSI委託事業公募
申請書作成を契機に大学上層公認に
 - 6月 図書館委員会
イラストを多用した説明資料作成
 - 8月末 3名でポータル研修参加
 - 10月～ 図書館運営委員会を手始めに、
部局説明会実施
-
- システムカスタマイズのための勉強を重ねる

平成18年度 後半

- コンテンツの本格的収集・登録
- NII電子化紀要・機械学会論文・医学部百年史
- 生産科学研究科学学位論文の収集
 - 過去学位取得者に対して、依頼文書送付(237名)
 - 今年度学位取得者に対して、部局から依頼メール送信
- ハンドル獲得 / 各種ハーベスタに登録
- 図書館委員会(2月7日開催)にて、運用指針案承認→リポジトリ本公開へ
- 登録件数2058件増
- 活動は19年度に継続

平成19年度7月 リポジトリ運用体制の変更

- 平成17年度 WG6名
- 平成18年度 WG7名（分館に＋1）
- 作業の中心は、学術コンテンツ担当
 - 主査1名、係員1名
- 平成19年7月
 - 主査0.5名（兼任）、係員1名→9月に係員2名にWG8名に（実働可能なメンバーを増やす）
- リポジトリ担当者の増加と育成を図る

平成19年度 9月以降

- 学内コンテンツの収集に励む
- 学内開催行事（FD・シンポジウムなど）の発表資料収集
- 教員へ提供依頼メールの送付
- 医学部紀要電子化について包括的許諾への働きかけ
- 投稿フォームのカスタマイズ
- SQLによるデータの一括修正（主に初期コンテンツ）

- 3月初めに総コンテンツ1万件

[平成19年度末]

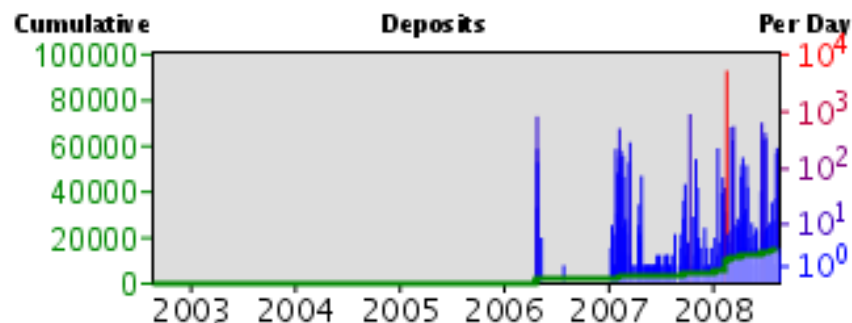
- 3月になる頃からSCOPUSアラートに登録
- アラートから、ピンポイントで教員に依頼メール
嘽どおり、返信・論文GET率がよい
- 貴重資料を除いた、紀要論文・学術雑誌論文・
学位論文・発表資料などを合わせ、5000件を
突破(3月10日)
- 年度末にコンテンツ数は11379件に
(貴重資料以外で5568件)

[平成20年度～]

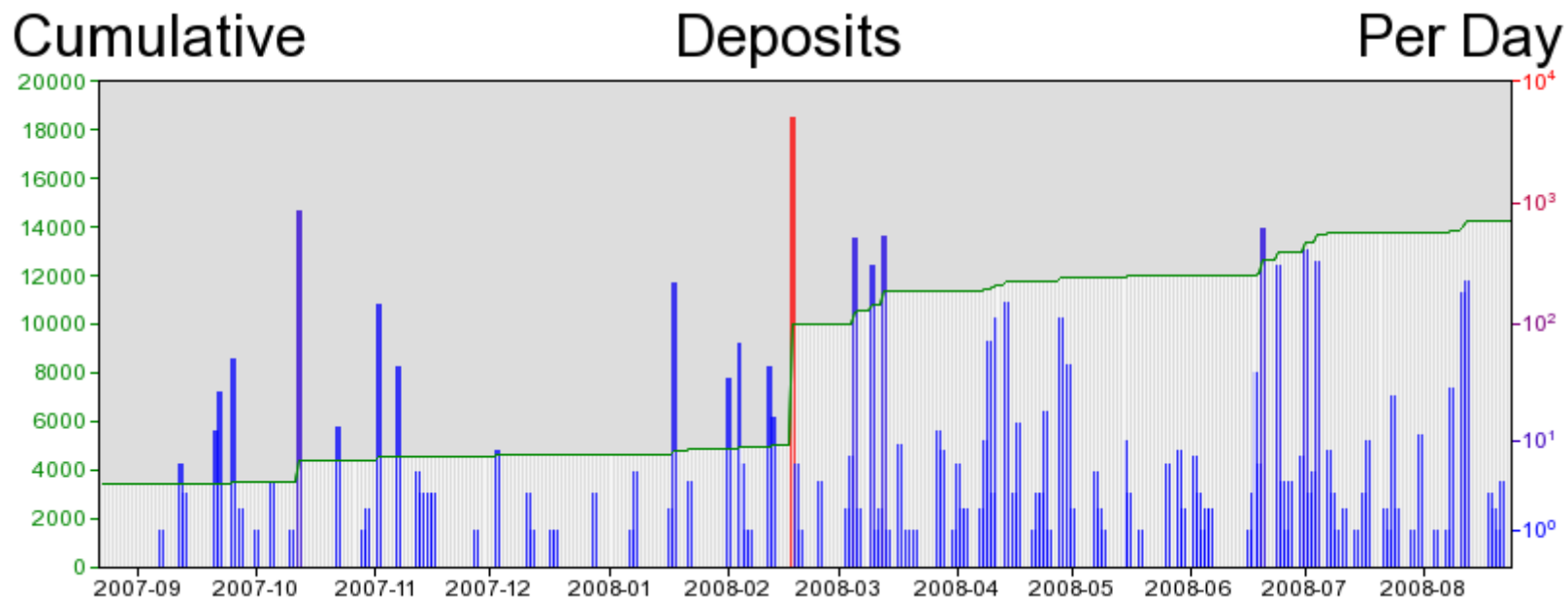
- SCOPUSアラートが多いときで、週に50件を超える→WGメンバーに作業を割り振る
- コンスタントに学術雑誌論文の著者版の収集が可能。日々微増。
- 教員のほうから、提供メールが来るように
- システムの機能強化(2008年9月)
- ブレイクスルーポイントを(いつのまにか)超えた

Registry of Open Access Repositories (ROAR)

<http://roar.eprints.org/index.php>



Japanの Sort by Activity(1-9)で
9番目に表示



いつ運用が軌道にのったのか

- 少しずつ成長を続けてきた
- 軌道にのったと少し実感が出たのはつい最近
SCOPUSアラートで働きかけを行うようにしてから
- システム的懸念も解決
- 3年もかかった → 3年、手をかければ...

- アラート活用の効用
 - 定期的なコンテンツ増加・WG活用によるリポジトリ業務
に関わる職員育成・作業ノウハウ蓄積

[反省]

- システム的な懸念事項を、もっと最初のころに解決すべきだった
 - DSpaceデフォルトは使い勝手がよくない
 - 職員の知識では、カスタマイズが難しい
- すべての教員に働きかけを行っていない
 - リポジトリについて連絡する教員が偏っている
- 紆余曲折と試行錯誤の繰り返し

- でも過去の試行錯誤は、今につながってる

システム機能強化(2008年9月)

- DSpace1.3.2→1.4.2
- 新しいバージョンほど便利に
 - RSSフィードが標準装備・ブラウザ項目カスタマイズ可能・<title>タグに論題が入る(検索エンジンクロールに対し有効的)
- カスタマイズ機能追加
 - 言語の切り替え・ブラウザカスタマイズ・PDFカバー
紀要の表示・コレクション変更機能・統計メール送信・
投稿者変更機能・DOIなどからの書誌事項流用
- 使いやすさ、教員へのアピールポイント追加
- 学内評価DBとのシステム連携(予定)



実際の運用作業

日々のお仕事紹介

[メタデータによる一括登録]

- 本学発行紀要
 - 部局合意による包括的許諾
 - 新しく発行される紀要最新号
- NII電子化研究紀要のコンテンツ提供
<http://www.nii.ac.jp/nels/about/contents.html>
- CiNii無料公開分(Nii-ELS)でリポジトリ登録可能な雑誌
http://www.nii.ac.jp/nels_soc/archive/list/

[一括登録作業]

- Excelでメタデータ作成
 - 書誌事項をリスト化
- 一括登録ツールで、XMLファイルに変換
- サーバにアップロード
- シェルスクリプトを実行し、登録
 - DSpaceの機能 dsrun利用

[1件ずつ登録:コンテンツ収集]

- 発表論文や学内イベントの情報収集
- 出版元のリポジトリに対するポリシー調査
- 教員に、論文寄贈願いメール送信
- 許諾および電子ファイルGET → 登録へ
- 最近発表した資料ほど、記憶に残っているし投稿ファイルも手元で見つかりやすい

- 大学の評価データベースに登録される論文等の情報を手に入れるのが理想？

SCOPUS Alert

- ユーザ登録。メールアドレスを、WGのMLに
- 週に1回で設定。水曜日に届く(設定した曜日)
- 検索条件は、AF-ID(著者所属の長大ID)
- 届いた論文の件数を、WGメンバーで等分
- 論文への長大教員の参加割合・出版者ポリシー調査・教員へのメール送信・ファイルが届いたらリポジトリに登録・登録後の教員への連絡まで担当 — 一種のレファレンス業務
- MLを活用し、作業状況および情報共有。
- 学術コンテンツで、他の人の調査内容を確認

[出版元ポリシー調査]

- 洋雑誌 : SHERPA/RoMEO
- 和雑誌 : SCPJ
- 電子ジャーナルのサイトなどから確認
 - Author Information/guideline
 - Instructions to Authors
 - Copyright Transfer
- 出版者にメールで問合せ

〇〇先生

長崎大学では所属の研究者による論文や学会発表資料等のアーカイブ化を進めております。

長崎大学学術研究成果リポジトリ:NAOSITE <http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/>

つきましては、先生方がお書きになった下記の論文について、原稿ファイルをNOASITEへご寄贈頂けないかと思い、お願いのメールをさせていただきました。

(書誌事項)

刊行元の社は、〇〇先生がお書きになった原稿ファイルであれば、リポジトリへの収録を許諾しており、著作権侵害等のおそれはないことを申し添えます。

電子ジャーナルのPDFは許諾されていませんのでご注意ください。

(参考)<http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/results/index.html#author>

ただ、NAOSITE収録につきまして共著者の方々との間で何らかの問題が生じる恐れがありましたら、恐れ入りますがあらかじめ調整の上ご回答を頂きたくお願い申し上げます。

▼「収録」に際しては、お手元の原稿ファイルを添付し、このメールに返信くださるだけで結構です。ほかには、先生側での作業は必要ありません。

以上、お手数をおかけいたしますが、ご検討・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ご不明の点等がございましたら、下記宛お問い合わせください。

マイリポジトリからの登録作業

- 書誌事項を事前にデータベースなどで調べておく
- ひたすらコピー＆ペースト
 - DOIまたはPubMedIDから一部書誌事項の流用が可能に。
- Junii2必須項目および入力推奨項目に注意
 - ※ Junii2 : Niiでハーベストしてもらうためのメタデータ基準。今後、CiNiiから連携してもらうためにも重要。

投稿画面

投稿: アイテムの記述

投稿アイテムに関する情報を下のフィールドに入力してください。ほとんどのブラウザでは、タブキーによりフィールドを移動することができます。<詳細ヘルプ...>

著者名(作成者名)を、姓と名に分けて入力してください。

	姓	名 + "Jr"	
著者	<input type="text" value="Yoshida"/>	<input type="text" value="Shigo"/>	<input type="button" value="この項目を抹消"/>
	<input type="text" value="Miura"/>	<input type="text" value="Kiyonori"/>	<input type="button" value="この項目を抹消"/>
	<input type="text" value="Yamasaki"/>	<input type="text" value="Kentaro"/>	<input type="button" value="この項目を抹消"/>
	<input type="text" value="Miura"/>	<input type="text" value="Shoko"/>	<input type="button" value="この項目を抹消"/>
	<input type="text" value="Shimada"/>	<input type="text" value="Takako"/>	<input type="button" value="この項目を抹消"/>
	<input type="text" value="Tanigawa"/>	<input type="text" value="Terumi"/>	<input type="button" value="この項目を抹消"/>
	<input type="text" value="Yoshida"/>	<input type="text" value="Atsushi"/>	<input type="button" value="この項目を抹消"/>
	<input type="text" value="Nakayama"/>	<input type="text" value="Daisuke"/>	<input type="button" value="この項目を抹消"/>
	<input type="text" value="Masuzaki"/>	<input type="text" value="Hideaki"/>	<input type="button" value="この項目を抹消"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="フィールド追加"/>

著者名のローマ字表記を入力してください。頭文字のみ大文字を推奨します。

	姓	名 + "Jr"	
著者(別言語)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="フィールド追加"/>

タイトル・論題などを入力してください。副題も含め入力できます。

タイトル

論文などの刊行年月日を入力してください。月・日は省略可能です。

発行日 月: 日:

論文の掲載誌情報など、出典情報を入力してください。

引用

論文の掲載誌名を入力してください。雑誌以外の場合は、入力不要です。

掲載誌名

論文の掲載誌の巻数を入力してください。雑誌以外の場合は、入力不要です。

巻数

論文の掲載誌の号数を入力してください。雑誌以外の場合は、入力不要です。巻数のみで号数がない場合も入力不要です。

号数

論文の掲載開始ページを入力してください。

開始ページ

論文の掲載終了ページを入力してください。開始ページと同じ場合も、同じページ数を入力してください。

終了ページ

NCIDを入力してください。

NCID

ISSN,E-ISSN,ISBNなどを入力してください。

識別子

2008/9/19

DOI, PMIDを入力してください。

識別子2 DOI

PubMed ID

DOI

DSpace内のtype. 複数選択可能。(デフォルトからいくつか選択肢を消しました, 必要に応じて追加してください)

資料種別

Article
Thesis
Learning Object
Presentation
Book
Book chapter

NII規程のType.

NII資料種別

本文中のメインとなる言語,

本文言語

出版者版を一部修正した場合, noneを選択すること. 学位論文は選択不要.

テキスト版の種類

あなたがコンテンツの提供者でない場合は, データ提供者のメールアドレスを入力してください.

コンテンツ提供者

キーワードを入力してください. 多くのキーワードを入力すると, 検索エンジンのヒット率が高くなるといえます.

キーワード

論文の抄録を入力してください. 別言語の抄録がある場合は, フィールドを追加して別枠に入力してください.

抄録

長崎大学学術研究成果リポジトリ
NAOSITE
 Nagasaki university's Academic Output SITE

長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY

長崎大学 | 附属図書館 | NAOSITE Japanese | English

記述 記述 記述 **アップロード** 確認 ライセンス 完了

投稿: ファイルのアップロード

下の入力欄にアップロードするファイル名を記入するか, [参照...] ボタンをクリックしてファイル一覧から該当するファイルを選択してください。
[\(詳細ヘルプ\)](#)

Netscapeをご利用の方へ: デフォルト設定では[参照...] ボタンをクリックして現れるファイル一覧にHTMLファイルしか表示されません。HTMLファイル以外のファイルをアップロードするにはあらかじめオプションを選択する必要があります。Netscapeをご利用の方は, [こちらをご覧ください](#)。

また, 本リポジトリでは保存の対象となるファイル種別を限定しています。本リポジトリが保存対象とするファイル種別とサポートレベルについては, [こちらをご覧ください](#)。

ドキュメントファイル:

長崎大学附属図書館 お問い合わせ - DSpace Software Copyright © 2002-2008 MIT and Hewlett-Packard

長崎大学のリポジトリこれから

- 学内情報の上手な(効率的な)収集を
- コンテンツ種類拡大(科研費報告書・学位論文)
- 登録教員を増やす(全教員に。特に文系の教員)
- 業務を手分けできるマニュアルや雛形作成
→作業のルーティーン化
- 複数人で作業しても、作業が重複しない工夫
- WGメンバーが大きくは負担に思わない方法で、担当係員の負担も減る、持続的な運用方法を模索
- まだまだ日々手探りで運用中

千里の道も一歩から
～とにかくやれば、リポジトリができていく～

ありがとうございました

学術コンテンツ担当 : iss@lb.nagasaki-u.ac.jp